

発行者・ユニオンネット・埼玉 : 組合事務所・〒346-0005 久喜市本町6-12-25

発行責任者・渋谷晃次 : 電話・090-5504-5801・FAX・0480-22-0019・Eメールkozi-2002@nifty.com



全労協第24回定期全国大会終わる！

— 全労協・路線組織検討会議、中間報告注目 —

ユニオンネット埼玉

はじめて野田政権打倒を メインスローガンに掲げる！

2012年9月23日(日)~24日(月)まで、熱海ニューフジヤホテルで、全労協・第24回定期全国大会が開催され、ユニオンネット埼玉から澁谷・高田(傍聴日帰り)が参加しました。組合員の村上さんも別のユニオンから参加しておりました。

14:00から大会が開催され、議長団に、国労のトキタさん、都清掃のモリタさんの2人が選出されました。金澤議長は、「3・11の福島原発事故から1年半になるが、誰一人、責任を取っていない。国民の70~80%を越える原発反対の声を無視して野田首相は大飯原発を再稼働させた。官邸前には毎週金曜日に、抗議のデモが現在でも行われている。7月16日のさよなら原発10万人集会には、17万人もの参加者があり、8・12の小出さんの講演会に1260名が参加し、労働者集会も成功した。しかし、民主党の代表選で、野田続投が決まったが、今大会の課題と任務は明らかであり、スローガンにも書いたとおり、労働者・国民の生活を破壊する増税、原発再稼働、軍勢力強化を進める野田政権打倒をめざすための意思統一の場にしなければならぬ。」と訴えました。

続いて、来賓挨拶になり、社民党の党首、福島みずほさん、新社会党・松枝委員長、(宮川労働委員長も参加)、平賀さん(中小ネットワーク労組)山崎さん(全労協元委員長)・お祝いのメッセージの披露が行われました。その後、中岡事務局長から経過報告、渡邊事務局次長から決算報告が行われました。900余万円の未収金が気になりました。

報告事項に対する質疑・討論

トップは、郵政産業労働者ユニオンの広岡さん、東京全労協NTT労組・頸肩腕の闘いで発言する下北さん、京都ジンツウ連・田中さん、昭和シェル労組から40年の闘い解決報告があり、解決金を全労協にSLU基金をたちあげ3000万円、女性の地位向上のために3000万円が寄付された報告がされました。大阪全労協青年部から橋下政治との対決。国際連帯の強化であれば、もっと予算を。女性・青年合宿交流会の実施を、静岡ユニオンふれあい(宮田さん)2008年に福祉法人の不正を県監査のとき内部告発した。理事長のパワハラによって「うつ病」になり、役職を降格された。もう一人のWさんも病気になったので、2人で労災認定を島田労働基準監督署に提出し、2人とも労災認定されたが、相手が応じないので、団交を申し入れたが、2人の団交が不調に終わり、今日に至っています。

街づくり公社の岡本さんより、理事長から入る時に定年まで働いて欲しいといわれた。1年契約で13年半勤めていた。5回の雇止めのうち4回跳ね返してきた。私の自慢である。H22年決算が赤字、H23年も赤字になるから、経営改善しなくては行けないので、辞めて欲しい。だが、決算は1900万の黒字、辞めるわけにはいかない。その他の発言者、電通労組高橋さん。東京全労協・東部労組・富士見グループ分会、長崎全労協・郵政ユニオン 以上の各地域全労協と各地域ユニオンの皆さんが発言されました。



第24回全労協全国大会で挨拶する金澤議長

ユニオンネット・埼玉は、夕食時の交流会の時3分スピーチで、K組合員の労災認定の件でアドバイスを呼びかけました。席に戻ると静岡ユニオンふれあいの宮田さんがこれ、精神疾患で労災認定を勝ち取った人がいるから、資料を送ってあげると言葉をかけていただきました。早速帰宅後メールでお願いいたしました。

全労協・路線組織検討会議・中間報告に注目！

澁谷代議員が、全国大会に参加する前の執行委員会で、何か質問するために話し合ったことは、今後の全労協の将来的な運動方針のことでした。たまたま、中岡事務局長が経過報告の中で、中間報告の概要が話されました。基本的には、月1回開催する。第25回大会に向け、成案を得るよう努力する。

1. 検討事項

イ. 現状認識について

労働者・労働運動の現状について共通の認識を作っていく...連合・全労連・全労協の現状、地域運動の現状 公務労働の変遷と今後（官民）

資本の動向（グローバル化・新自由主義と日本経団連）

労務政策の方向

産業政策と労働構成の変遷

政治の動向

憲法問題・平和問題・産業エネルギー政策

2. 全労協の基調と目標の発展

私たちの闘い・運動の基調を現状に照らした

23年間の総括と、全労協・国鉄闘争の総括

3. 組織をどのように改組・発展させるのか

今後の議論の進め方...

平和運動・政治闘争の変遷と総括

全労協の取り組みの総括

全労協「基調と目標」に照らして

組織状況の変遷と総括

新たな「基調と目標」は

組織と100万人全労協へ

全組織での討論と「新たな基調と目標」の確定

先輩、外部との討論も経てまとめ作業

全組織で論議に付し、修正・加筆のうえ、第25回大会で確定したい。以上

2日目の質疑・討論

24日の9:00より2日目の質疑・討論がありました。その前に、社民党衆議院議員・服部良一さんの挨拶があり、そのなかで、「民主党・野田政権は、消費税増税・原発賛成・TPP賛成・沖縄普天間基地にオスプレイ配備強行と国民の声を無視している民主党を連合は支持を表明した。これで本当によいのか？労働組合の再編が必要ではないのかと思っています。」と挨拶されました。その後、質疑討論が行われ、採決の

結果、すべての議案が採択されました。

その後、大会宣言・大会スローガンの確認、命を奪い、空、大地、海を汚染し、地域、暮らしを破壊する原発の即時廃炉と、反核の闘いを取り組む決議。労働者保護の労働法制を確立し、規制強化を勝ち取る決議。オスプレイ配備・沖縄の軍事基地強化に反対する決議。の議案を全員の拍手で採択し、新役員を発表し、金澤議長の団結ガンパローで2日間の定期全国大会を閉じました。

全労協・三役体制

議長 金澤 壽（東京清掃労働組合）

副議長 鈴木 郁夫（国鉄労働組合）

副議長 和田 隆宏（東京都労組連合会）

事務局長 中岡 基明（全国一般全国協議会）

事務局次長 渡邊 洋（全水道東京水道労組）

常任幹事 14名 会計監査 2名

その他規約の改正、事務所所在地を東京都港区新橋6丁目7番1号に改めました。（大会報告終わり）



9・27労働運動委員会関東ブロック幹事会報告！

第25回の幹事会が、東京都本部で、18:30から行われ、各県での党員拡大・機関紙拡大の取り組み、各県での選挙協力協定について、党労働運動委員会総会に向けて。各産別・各ユニオンの活動について。論議されました。・とくに 項の総会の件で、関東ブロックエリアの各県の参加状況が以前の熱海で開催したより、東京で開催した方が参加が少なくなっており、埼玉県本部に10名参加の要請がされました。

ユニオンネット・埼玉の日程

10月22日(月) 18:00 執行委員会パルコ9階

11月22日(木) 18:00 久喜駅前宣伝行動・新社会
一斉労働相談・ピラ配布行動

月 日() 18:00 JR川越駅前宣伝行動、
現在、川越支部に日程照会中

11月17~18日 13時・労働運動委員会全国総会・
東京YMCA・10時ユニオン党員協総会・場所未定

12月16日(日) 15時執行委員会・18時年未組合員交流会・大宮・さんごしょう